

ブログ		学び合い 支え合う 心豊かな子どもの育成	発行日	年間・月中行事予定
	人を大切にする力 自分の考えを持つ力 自分を表現する力 チャレンジする力		令和 8 年 4 月 30 日	
			第 2 号	

誰も見ていなくても、今、自分ができることを

校長 田淵 雅樹

あるラジオ番組を聴いていると、次のようリスナーからのメッセージが紹介されました。

雨の日、在宅ワーク中に置き配の宅配便を待っていました。玄関は雨に濡れやすかったのですが、届けばすぐに家の中へ入れられるので、特に問題はないと思っていました。ちょうどコンビニに行こうと外に出たタイミングで、宅配便の車が家の前に停まりました。荷物かなと思い、そっと様子を見てみると、ドライバーさんは上着で荷物をかばい、雨に当たらないように抱えて走ってきてくれました。玄関前に立っていた私に少し驚いた様子でしたが、『ちょうどよかったです』と言って、一粒も雨に当たっていない荷物を手渡してくれました。

誰も見ていないかもしれない場面でも、荷物を大切に扱うその仕事ぶりと心づかいに、深く感謝しました。十分に感謝を伝えられなかったことを少し悔やみつつ、その荷物が甥の入学準備品だったこともあり、特別な思い出のある贈り物になりました。

このメッセージを受けて、DJ は次のようにコメントしました。

ドライバーさんの行動も本当に素晴らしいですね。きっと、実際には雨粒は付いていたと思います。でも、『雨粒は付いていない』と思える受け取った方の心も、とても素敵だと思います。心の豊かさは、自分自身で創っていくものなのかもしれませんね。

朝、登校時に挨拶に立ってくださっている地域の方々から、

「私たちは、子どもたちから元気をもらっているんです。『おはよう』の声を聞くことができるから、毎日こうして挨拶に立つことができますよ」

という言葉をいただくことがあります。

鍵山秀三郎著『すぐに結果を求めない生き方』には、「大きな努力で小さな成果を」という章があります。その中に、次のような一節があります。

人は『すべきだ』『したい』と思っていても、なかなか行動に移せないことがあります。しかし、勇気をもって一歩踏み出してみれば、それが二となり、三となり、やがて十、百、そして千へとつながっていきます。(中略) 人はどうしても、できない理由を探してしまいます。さらに、『自分がやるのではなく、誰かがやるべきだ』と考えるようになると、もう行動には移せません。『いますぐに』『少しだけでも』『できるだけ』『私が』やるという覚悟をもって始めることが大切なのです。

地域には、潮見っ子のために、たくさんの方々がさまざまな活動をしてくださっています。その一つ一つに直接感謝の気持ちをお伝えてきていないこともありますが、潮見っ子が安心・安全に登校できていることこそが、何よりの感謝の証になるのかなと感じています。

昨年度から始まった「サポーター制度」においても、潮見っ子の学びに、できる方ができる形で関わっていただいていることに、心より感謝しています。潮見っ子に関わる大人(地域・保護者・教職員)が、自分には何ができるのかを「自分事」として考え、行動していくことが、「地域の核となり、学校に関わる人が幸せになる学校」への一歩になると考えています。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆電話対応の自動応答メッセージの切り替え時刻について☆

これまで 18 時以降自動応答メッセージに切り替えておりましたが、令和 8 年 5 月より自動応答メッセージに切り替える時刻を **17 時 30 分** に変更します。

17 時以降にご相談等を希望される場合は、事前に担任までお知らせください。

※本日(4 月 30 日)、芦屋市教育委員会より配信されます「教職員の勤務時間適正化に向けた取組について」を参照ください。

☆正門、鯉門のオートロックの運用方法について☆

昨年度の学校だより 3 月号でもお知らせしたとおり、5 月 7 日(木)より運用を開始します。詳細については、5 月 1 日(金)に配布します「学校門のオートロックシステムの運用について」をご覧ください。